

よこはまの
話を
しませんか

横浜市民生活白書

中央ヨコハマ ☎262-0050

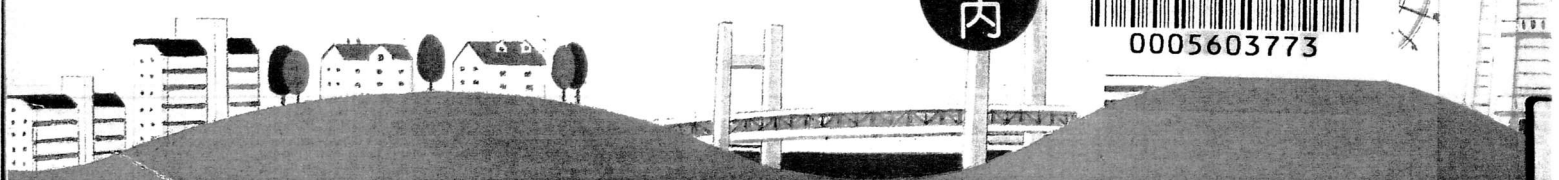
横浜市立図書館



0005603773

館内

1993-1



は じ め に

ノリノ氣な生活のものと、身長の沈滞化とともに、人々の目はようやく足元に向かうようになった。そして、そこで見出したものは自分たちの暮らしをゆさぶるさまざまな社会状況の変動や、それに伴う価値観の変化だった。

中でも大きな社会問題となりつつあるのが、少子化と高齢化の進行だろう。二十一世紀はじめの五人に一人が高齢者という社会においては、これまでのピラミッド型の人口構成をもとにつくられていた社会システムは機能しなくなるに違いない。すでに介護の問題が大きく浮上し、デイサービスをはじめ、さまざまなサービスへのニーズが高まっている。それと同時に、互いに個々の生活を重視しがちであった都市生活者の間にも、近隣で支え合ったり、育児機能を発揮したりする地域の役割を、もう一度見直そうとする機運が生まれてきた。

さらに、余暇時間の増大、仕事も遊びも等価とする労働意識への変化などにより、心の豊かさを重視する価値観も本格化している。人々の関心は文化・スポーツ活動に、また、よりよい環境保持に向き、いまや豊かさの中心が問われる時代となっているのである。

そうした内部的な変化のほか、世界的規模での変動も、私たちの生活に影響を及ぼしている。まず何より深刻な問題は、地球的規模の環境問題であろう。それはもはや一国だけの問題として処理できるものではなく、国際的な協力体制が強く求められている。また国際社会のボーダレス化の波は、わが国の国際化に拍車をかけ、隣に外国人が住む風景を身近に出現させている。こうした状況の変化にさらされつつも、バブル経済によって加速された東京一極集中の動きはやまず、横浜の、都市としての経済的・文化的自立を遅らせ、社会の変化に対応する都市づくりを難しくしている。東京への通勤者の増加は、地域社会の成立を難しくし、横浜の活性化にさまざまなかたちで影を落としているのである。

だが、三二七万都市・横浜には、三二七万の市民の暮らしの貌がある。ハイカラや異国情緒といったよそゆきの顔をした横浜から目を足元に向けてみれば、町の路地裏や家庭の中の何気ない風景のうちに、いつの間にか新しい社会の変化に対応している、新しい横浜の貌が、暮らしたが、息づいていることに気づくに違いない。

そうした変化を未来のまちづくりに生かし、新しい「横浜らしさ」を創りあげてゆくには、いまこのときの横浜市民の暮らしをまずじっくり見つめたいと思う。そして横浜のいまとこれからについて、みんなで語り合うことから始めたい。そこから明日の横浜が見えてくることだろう。

横浜は、いつでも市民の暮らしがづくりあげ、これからもつくっていくまちだから。

よこはまの

話を

しませんか

横浜市民生活白書

目次

第1部 「私たちの今日、そして明日へ」

「クラブピア」いま・よこはま

2

第1章・ひと

- 再現 / よこはま市民生活 16
- より都会化する市民のライフスタイル 24
- よこはま市民型録(カタログ) 26
- むかしよきな目がつくるよこはま 38
- 【コラム】 時代とともに現れた新しい労働観・生活観・フリーター 42

第2章・まち

- まちに住む 44
 - 青葉台 / 戸塚 / 左近山 / 相沢
 - 藤棚 / 生麦 / 弘明寺 / 日吉
- 舌の楽しみ追求するまち 山下町・中華街 60
 - まちを使う
- 横浜西ロバルナード / 山下公園 / 緑園都市 64
 - クラブピア

第3章・ひととまちとの関係

- 旭区民文化センター・演劇ワークショップ / フットボールクラブ本郷 / トータス・ウォーキング・クラブ 66
 - いちょう小学校 / コミニニテイスクール / 四丁目洋光台クラブ / 都筑センター / オリブ工房 / コンビニ
 - エンス・ストア三ツ境店 / 大熊生活改善グループ
 - 三保小学校三保念珠坂公園活用委員会 / 鶴見保健所赤ちゃん教室 / 西富岡小学校 / 峰岡町二丁目自治会 / 白幡緑の会 / 『安、近、楽』時代の余暇
 - 【コラム】 進む市民のボランティア意識、企業の参画にも期待 96
 - ボランティア活動 —

第4章・くらしからまちへの伝言

- ムハマ・生活者のための都市への再生 98
- 【住宅】よい住まいから、住みよいまちが生まれる 101
 - 《横浜住宅事情》
- 【交通】暮らしを支える交通ネットワークづくり 106
- 【福祉】福祉都市・横浜の実現は地域から 109
 - 《障害者地域活動ホーム「いずみ会館」》
- 【環境】環境にやさしいまちづくりをめざして 113
- 【文化】学ぶ、創る、拓く市民を育む 116
- 【新しい横浜の指針づくり】新総合計画の策定 120

第5章・よこはま・私たちがつくるまち

- 国際都市・横浜の実現に向けて 122
 - バランスのよいまちをつくる 125
 - 市民がつくりあげてきたまち 128

第2部 「私たちの今日まで」

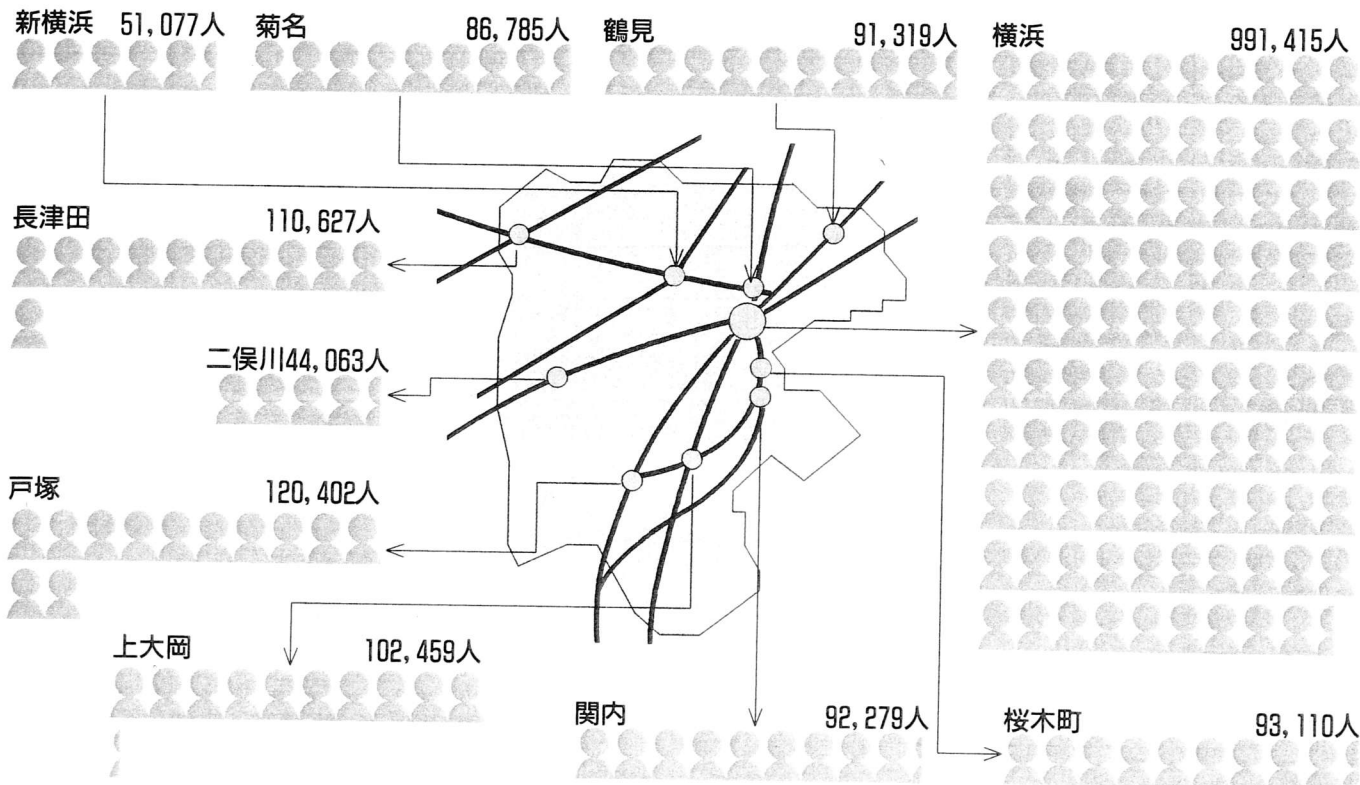
- 歴史編 130
- 統計編 136

交通

■鉄道

横浜駅の乗車人員、100万人に近づく

数字は1日当り乗車人員（千年度）
 ※乗車人員は1日当り乗車人員は含まれていない



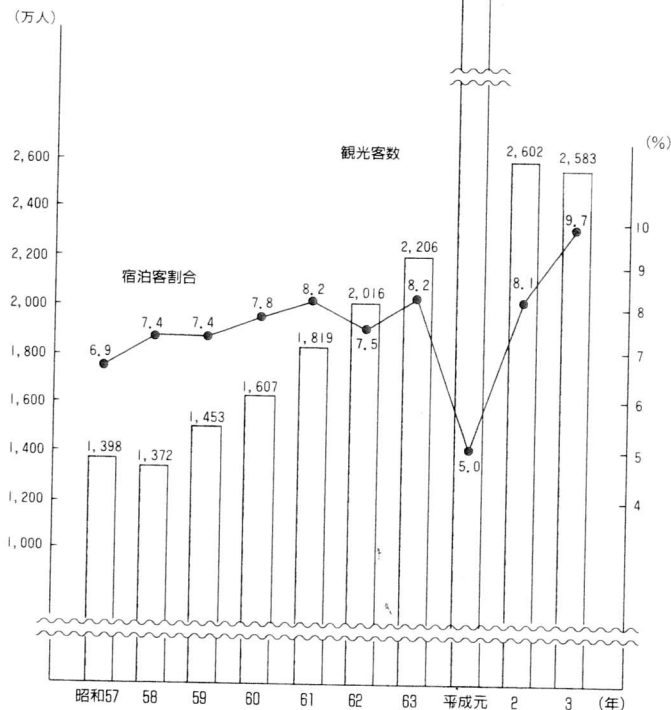
観光

財政

■観光客数

上昇する宿泊客割合

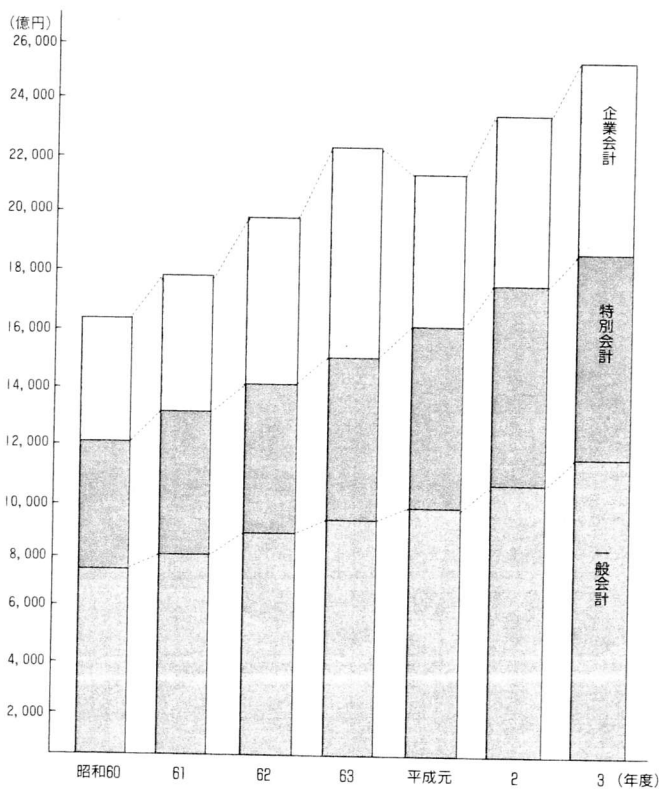
平成5年は横浜博覧会開催による観光客の増加。市内の観光客数は10年連続でトップ。



(資料：経済局)

■歳出決算額

平成3年度総額は2兆5,420億円



(資料：企画財政局)

KY318.5 365
よこはまの話をしませんか

横浜市民生活白書 平成5年

頒価 800円
(本体価格 777円)

編集・発行 平成5年6月

✓横浜市企画財政局企画調整室
〒231 横浜市中区港町1丁目1番地
電話 045-671-2014
横浜市広報印刷物登録第050017号
種別・分類 A-BA010

編集協力 (株)コミュニティアド博報堂
(株)ル・マルス
高田英子

イラスト 曲山賢治

写真協力 平工幸雄
野毛大道芸実行委員会
開港舎

印刷・製本 (株)野毛印刷社